

第5回口蹄疫対策検証委員会の概要

(平成22年9月8日開催)

本日は、これまでの4回にわたる委員の意見交換やヒアリングの結果を踏まえ、議論を整理するため、委員間でフリーディスカッションを行った。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 国、県、市町村等の口蹄疫発生時における役割分担については、県や市町村が初動対応を迅速・確実に行うことが重要である。国はそのための防疫方針、マニュアルを責任を持って作るべきである。
- 水際における防疫体制については、豪州・ニュージーランドのような厳しい体制を取るべき。
- 家畜飼養者の意識改革が必要。特に大型農場の責任は大きい。
- 今後は、疫学調査で感染経路の究明をしっかりとやるべき。
- 家畜防疫員の任命については、公務員獣医師だけでなく、民間の開業獣医師、農業共済組合、農協等の獣医師も任命すべき。
- 宮崎県が行っている検証委員会の内容を是非知りたい。

次回会合（9月10日開催予定）において、引き続き議論を進めることとなった。